

読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

笠岡市の笠岡商業高2年生のグループが「全国高校生ビジネスアイデアコンテスト」で優秀賞に選ばれました。記事を読み質問に答えましょう。

低学年も
チャレンジ!

Q1 生徒が提案したのは、笠岡諸島の北木島で育つダイダイの栽培に学生が関わり、ドリンクの商品化などを通して地域産業を受け継ぐプランです。新しいドリンクにふさわしい名前を考えてみよう。

Q2 プランでは、事業を引き継ぐため学生が生産の担い手になると提案しています。ダイダイのどんな特徴に着目して考えましたか。第3段落を参考に答えてみましょう。

Q3 プランを作るときに、生徒が興味を持った北木島の習慣は何ですか。次の三つから一つを選んで、答えてみよう。

- ①ノリとダイダイを混ぜて食べる
- ②カキにダイダイをかけて食べる
- ③牛乳とダイダイをミックスして飲む

過去の問題は
 こちらから▶▶



全国高校生ビジネスアイデアコンテスト

笠岡 笠岡商業高（笠岡市笠岡）2年生のグループが「全国高校生ビジネスアイデアコンテスト」（10月29日・福井県）で最優秀賞に次ぐ優秀賞に選ばれた。笠岡諸島・北木島で育つダイダイの栽培に学生が関わり、ドリンクの商品化などを通して地域産業を承継するプランを提案。生徒たちは「結果を残せて良かった」と喜んでいる。（谷本こころ）

全国高校生ビジネスアイデアコンテストで優秀賞を受賞した笠岡商業高の2年生チーム



北木島のダイダイ活用 地域産業承継提案

専門科の高校生が学習成果を発表する「全国産業教育フェア」(文部科学省など主催)の一環で開催され、87チームがエントリー。書類審査を通過した10チームが決勝でプレゼンテーションに臨み、文部科学関係者ら5人が実現可能性や収益性、質の栽培しやすさに着目し、学生が生産の担い手になると提案した。同高は有志9人でプランを作成。ダイダイの栽培しやすさに着目し、学生が生産の担い手になると提案した。学校行事などを通してノウハウを引き継ぎ、高齢化や人口減少が進む中でも事業を承継していく。活用法として

「北木島ではカキにダイダイをかけて食べる習慣がある」との話を聞いた島民から話を聞きながら、3月から4月にかけてプランを完成させた。コンテストには代表4人が出場。松井天伽さん(17)は「準備は大変だったが、いい経験になった。プランが地域活性化につながるよう取り組みを続けたい」と話す。

25日には、革新的なビジネスプランや実践例を競う「岡山イノベーションコンテスト」(山陽新聞社など主催)の最終審査でもプレゼンテーションを行う。

クラフトコーラの開発を考案。将来は原液をOEM(相手先ブランドによる生産)で瓶詰めし、飲食店などでの販売を目指すとした。

笠岡商(2年生) チーム 優秀賞

◇「さん太のワークシート」は自由
 由にダウンロードして、学校や家庭
 での学習に活用してください。